夕刊　昭和21年6月1日　第三種郵便物認可（除日曜）　（1）
昭和24年2月28日　運輸省特認第238号
いわき民報
夕刊　昭和30年5月4日（水曜日）　第2744号

夕刊
いわき民報
発行所
平市田町48
いわき民報社
編集部電　381
営業部電　122

古い信用と最新のモード
CHOYA
蝶矢印のワイシツ
中野洋品店
平二ノ町五三

炭鑛候補は全當選

常磐市議選を顧みる

常磐市議選は湯本区（定員十七名）磐崎区（定員十二名）鹿島区（定員一名）の小選挙区で行ったが、果してこの方法が合理的であったかどうか、湯本磐崎側の対立的な感情のシコリを醸し出すのではないだろうかとの不安もあり、今後の問題として残されるものが多く、批判検討されるものも多い、また選挙の後を振り返つて見て市会としても、市民としても今後新たに対処しなければならない問題もあり、反省して見る点も多いのでは無かろうか

まず選挙の跡を辿って見よう

【湯本区】旧議員十六名の立候補で新顔が全部落選したとしても一名の脱落者があるわけで、從つて旧議員の戦いも熾烈であり、十三の新顔の肉弾戦も果敢であつた、新顔のうち常磐炭鉱を背景とした荒谷、高原、神田、佐瀬四氏は最初から当選組にあげられていたのに対し湯本町の新顔がどれだけ当選するかが興味の重点であつた処この結果は只一人の女性候補織内広子さんが最下位ながら当選しアツと言わせた、かくて湯本町側から新顔はただ一人の進出で、しかも女性候補にしてやられたのであつた、炭鉱側候補はいずれも予想外の得票で悠々ゴールインしたが町は、このほど新町長に吉田万吉氏が決り三日午前九時から同町小学校で合併祝賀式を行い全町民挙げて町制施行を祝つた、当日は合併功労者として草野米瀬氏ら四十七名、永年勤続者として草野貢伊九名、面積百十三・一八平方キロ

しかし炭鉱勤務の人で立候補した候補者もあつたが、いずれも非公認でこの組は惨敗した、落選組で予想外であつたのは小野英二郎氏の敗退で町議二期、市議一期、副議長の職にある古強者だが、吾戦は停えられていたがまさかといつた空気があつたゞけに同氏の落選は審狂わせと見られるであろう

【磐崎区】こゝは新顔の方が多く十二名に対し旧議員七名で戦いが進められた、しかも新井、箱崎、桑原二氏の旧議員は当初から吾戦で落選かといわれていた程だつたが調査結果は二氏のほか吉田氏が落ち、結局旧顔で残つたのは、議長として今後市政運営に苦難の多いということが予想されるのは与党派議員の少数なことで磐崎区は新人が多いのでその態度はまだハツキリしないが湯本区の場合、殆んどが市長の辞職公約を追つた野党議員だけに今後果してどう動くかが注目されるわけである

野黨派が多數

番狂わせは小野氏の落選

小野英二郎氏の落選は予想外であにとつてもマイナスになる点があり、番狂わせであつたと見られるのではないかと見る向きもあるが、同氏は議会人中の論理家であまた一面現矢吹市長の参謀であつた外的な面ではその論理と実力が相当大きなカを持つていただけに小長の辞職公約破棄も結局は小野氏当大きなカを持つていただけに小の議員時代の画策であろうと見ているものもあり、その反動が小野秋氏を落選させてしまつたのだと観察している者もあるいずれにしても今後の市会の動き、矢吹市長の在り方に注目されるわけであるまた女性候補の進出がまたどれだけ議会に刷新の空気をふき込むかさらに新人議員の多数の進出によつて革新されて行くか、十五名対十五名の旧分野は偶然とは云え新しいふきを盛りあげていることはよいことであろう、ただ矢吹市長として今後市政運営に苦難の多いということが予想されるのは与党派議員の少数なことで磐崎区は新人が多いのでその態度はまだハツキリしないが湯本区の場合、殆んどが市長の辞職公約を追つた野り現町長職務執行者荒川久馬氏、党議員だけに今後果してどう動くか注目されるわけである

合併祝賀式を擧行

小川町で表彰や演藝大會

二月十一日に合併（上、下小川組げて町制施行を祝つた、当日は合方面事務所長、大和田改良課長の開演と演芸大会を行つた、同町は戸数は千八百七十五戸、人口一万百

平市議初顔合せ

当選した新平市会議員の初顔合せは三日午後一時から平市「谷口」に開かれた、定員三十六名のうち小野静秋氏は高血圧のため欠席、他はいずれも出席し、当選の感激いまださめやらぬようこびにひたり、なごやかな雰囲気に包まれたが、諸稿市長は新議員の当選を祝福する挨拶を述べ〃円満に市政を実現するため皆さんの御協力を願つて大平市の躍認にまい進したい〃旨強調した、これに対し最年長者の鈴木寅次郎氏（七）が新議員を代表して答辞を述べ、市長の当選を祝し今後も御衷に注意し円満市政の実現に協力する旨挨拶した

二巴戰か

遠野町長選

十五日投票の遠野町長選は明五日告示されるが、同町長の席をめぐり現町長職務執行者荒川久馬氏、元上遠野村長大野正氏、商業久野二郎氏の三巴戦が展開される模様

PTA總會

七日に湯本高

湯本高校は七日午後一時からPTA総会を開き三十年度予算審案計画、二十九年度決算を付議、会長外各委員の役員改選を行う

日共の佐藤氏

供託金沒收

平市会議員選挙で法定得票数にみたず、供託金を没収されたのは得票七十八票の日共公認佐藤正氏だけ、法定得票数は有効投票二万五千四百七十七票を定数三十六で除したものを十分の一で除した九十八・五五票

供託金一万円は投票日以来二週間後、平選管委から証明書を発行してもらい平法務局から支払をうけるかつて慾しいと考える。

ポスターを

配布大宣傳

つつじ力岡といわれた平市松力岡公園のつつじは五月十日から二十日ごろが見頃とあつて平市観光課ではポスターを作製、三十日各方面に宣傳配布した、同公園のつつじは八百種類あるとムカシからいわれているが、ゴールデンウイークの明五日に沢山の人出で賑うことだろう

【写真版はつつじの宣傳ポスター】

人事消息

◇沼田内郷市長は四日各方面に当選の挨拶廻りをした

社告

明五日は發刊

明五日は子供の日で祭日ですが本紙を発行します

いわき民報社

天気予報

四日

【今晩】北または東よりの風小雨が降つたやんだりの天気、夜半過ぎから曇勝ちになる

【明日】北のち西よりの風始め小雨の降るところもあるがのち晴間が出る海上今晩から明日の始めにかけてシケ模様となるから小型漁船は注意を要する、明日は風波が残る見込み

岡カ見物

今度の選挙で平市議には社会党系統の者が四人出た、中でも上坂昇氏はもと共産党員であつた、市会の監視役をやるから出して慾しいと呼びかけて当選した

▼学識もあり温厚な人物なので土木ボスのバツコを監視するのに適役であろう▼内郷市からは平事件に関係した鈴木磐夫、斎藤隆行（以上共産党）熊田豊次（無新）好間村議に穂積博光氏（無新）ら四人が当選した▼左派の人たちは兎角ウルサ型の人が多いので今後の市会の運営にはサゾかしウルサイことだろうが、保守党の者だけが多いとナレ合い政治に陥り易い欠点があるのでこれぐらいのウルサ型が入つた方が却つて市のためになるかも知れない▼何れにせよ市民の代表ともなれば社会通念から見てあまりにもケタはずれな言動をしないように小児病を癒してかかつて慾しいと考える。

創刊十周年を回顧

株式會社　いわき民報社
取締役社長　野澤武藏

いわき民報が旬刊紙として創刊したのは終戦直後の昭和二十一年二月一日であつた。次いで同年五月一日附から日刊紙に更新して本県の復刊新聞に先べんをつけ、福島民報に次ぐ県内唯一の日刊紙と成つたのである。

創刊当初は印刷工場を有たず、加納印刷所に於て委託印刷を行つて来たが、同年十一月十五日資本金十九万円、株式会社いわき民報社を創立して社屋を建設現在資本金二百万円に増進、タブロイド型の日刊紙としては全国の新聞界に誇る設備と内容を具備するに至つた。

五月一日は日刊紙に更新発足して十周年に当る。顧て感慨無量である。発足当時は戦災なおおさまらず、国民は食糧難と生活苦に悩まされて殆んど放心状態であつた。第二国人は戦勝を傘に追害と恐威をほしいまゝにし、共産党員が思想攻勢に出て破壊活動に専念、街の紳士が市民を威嚇するなど地方民を苦しめをきかせチンピラどもが昏がもの顔で横行活歩、良民を苦しめても警察官は手も足も出せず、街の秩序が極端に乱れていた、殊に常磐地方には、炭鉱労働者として多数の朝鮮人が定住していた為、これ等の第三国人が戦勝国の威を借りて不隠な団体行動が流布されるなど地方民を萎縮させる状態にあつた。

このような悪條件下に於て、良民を守り、秩序を回復するものは言論機関、即ち新聞以外に道無しと断定、心に固く期するところがあつて福島民報平支社長の職を辞し、反共産党の旗印を高く掲げていわき民報社を創刊したものであつた。当時、社屋を建築するための資金が統制され、建築資材もすべて配給で正式には手に入りようが無く創立当初の株主が材木、釘、ガラス、セメントなど持ち寄つて社屋を作り上げたようなものであつた。寄贈された資材も多いが大変骨を払つて土地を提供された関内正一氏には特に謝意を表したい。

用紙の配給もないのに新聞を印刷していた。いわき民報の正しい報道をおそれた反対派から闇用紙の密告をされ、検察当局の取調べを受けたこともあつたが、朝鮮人や共産党から再参結聞を受け、第三国人多数に押しかけられ、平市駐留のアメリカ情報機関に認定を求めるなど危急の throughout であつた。増資チンピラの行為は徹底的に糾弾した為、襲撃されたこともあつたが、このため街の秩序も回復し、弱い商売の花柳界などから感謝もされたようである。

十年の歳月は顧て夢のようであるが、今日の成果を収めるまでは苦難の連続であつた。増資を重ねること三回、社屋の建設には五回に亘つて上棟式を挙げ印刷機、写真製版、活字鋳造機等々一ツ宛積木を重ねるように漸進的に内容を充実させて来たが、創刊十周年記念事業として発表した印刷機と断裁機の設備は是非とも実現させ、印刷能力を倍加し、正確にして迅速なニユースを報道、地方産業の助成と地方文化の向上にたゆまぬ努力を払い、読者と広告主へのサービスに万全を期する考えである。倍する江湖の御支援を切に希む。

大谷石の販賣
土木建築の請負
平土建工業所
平市南町八
鶴呼七二九

最高の品を
最低価格で
牛肉の
緑屋
平市一丁目　電五二九
平市中央通　電七九四

信頼出來る商品
それは外観だけでは分りません
會員の店
岡萬年筆店
三十年の経験ある専門店でお選び下さい
平市中央通り　電二九九

平競輪
発走11時
5月3日4日5日7日8日
場外・福島・郡山・若松・平

平の名物

安心して…（安いので）
樂しめる…（御同伴て踊る）
社交大ホール
バーグリーン
堂々五月六日開店
麗人二十名急募住込通勤自由
上階の将王将通大米十三平市

磐高創立六十周年

鈴木光四郎（終）

戦後の本校

終戦の情況は極めて平静だつた。懐疑と恐怖とを以て迎えた米軍の進駐もされるともなく平穏であつた。人々の気持には、何か重大なものを感じながらも、まず起ち上つ気力に欠けていたようである。なお分校授業の多い夜が続いた。こういうことならなかつた。動員先からは上級生がかえつて来た。生徒の家庭の中には父や兄たちの復員、戦死、抑留など悲喜交々のうちに、この年も暮れていつた。食糧難、交通難と住宅難、電灯の暗幕は久し振りに取り除かれたが、その後停電は大都会に比べていくらかは増しであつたとはいえ、深刻に各自の身の上に振りかかる問題であつた以上のようなことは生徒の生活にも直接に間接に影響を与えずには置かなかつた。学力の低下は当然現れた。戦時中より引つづく悪条件のもと体力の低下も免れ難かつた。生徒の気持も荒み、その上自由解放が与えられたので或る期間、学校は統制のない状態になつた。真の自由主義は個人の自覚に基くものとは知りながら、それが現実にあらわれるためには可成りの時間が必要であつた。新しい教育制度はアメリカの教育方式によつて打ちたてられたとはいつても実際には先ず教師自身が戸惑うことが多かつた。こうして戦後十年世の中が徐々に立ち直るにつれて学校も立直り現在では新教育制度の下に、しつかりと地についた学校生活が営まれるようになつた。

焼失前の高月台校舎

山森校長と五十周年記念事業

終戦の詔があつた昭和二十年八月十五日、数人の当直の職員は山森校長を中に挟んで高月台の北側の大防空壕での中で天皇陛下の終戦を告げるお声を聞いた。そのとき校長は静かな涙を落して居られた。先生はその月を以て校長の座を去られたのである。先生は歴代校長のうちで只一人、本校の卒業生であられた外に、温厚篤実なお子様方であつた。先生は先に五十周年記念事業に非常に熱意を示されて「五十年史編纂」についても資料を準備されたのであつたが、戦争のために実現出来なかつたのである。

今回の六十周年記念事業を地下で先生はどれほど喜んでおられるだろうか。又先生は二十三年には「同窓会名簿」を作成されたのである。

火災と復興

昭和二十六年十月一日午後八時突然校舎の一部に火の手があがり折からの強風に煽られ間もなく全校舎は烏有に帰した。同時に多年築き上げた資料も大半焼失した。幸に隣接した両側二階校舎一棟を残すのみ。平市消防団はじめ市外、近在の消防団を動員し本校生、職員必死の消火作業も遂に空しかつた。一同翌くる朝、灰じんの上に立つて茫然自失したが、こゝに敢然と立ち上つた。全職員生徒はもとより卒業生PTA、校と改称した。職員会議に於ては討して男女共学制を採用し昭和二十九年まで続いたのである。磐高の卒業生は一万名に近く在校生は千二百名に及ぶ大校となつて東北一に誇る名門磐高と称えられる現状にいたつている。卒業生は石城の地は勿論、全国に発展して目ざましい活躍をしている。

歴代校長

創立以来校長として校務に尽された方々は植竹源太郎、西村岸太郎、桐谷文平、滑川一郎、唐土斉治、橋本文寿、小檜山久作、浅水成吉郎、山森正一、渡辺伊藤、野々山三郎、橋本勝司の諸先生で現橋本校長は十二代目に当るのである。

創立六十周年記念事業

創立六十周年を記念して同窓会PTAと学校とが協力して委員会を結成し記念事業を計画している事業は

第一磐高創立六十年史編纂

第二磐高同窓会員名簿の作成

第三野球固定観覧席と倉庫建設

同窓会員諸氏に望むことは六十年史と同窓会員名簿は山崎、大橋両先生を中心として二カ年にわたり苦心して作成したものであり、磐高の今昔を語る貴重な資料と思われるので是非とも購入されることを、おすすめする次第である。

むすび

以上は「創立六十年史」の資料より磐高六十年を回顧したものである。磐高の発展と歴史こそは正に石城の教育史を語るものであるしかもこの発展のかげには石城の人々の御支援、勧務された教職員の努力と同窓生諸氏の母校愛の熱意を忘れてはならない。意義ある六十周年の記念日を迎えるに当つて磐高に学ぶ者は勿論、関係者の新たなる覚悟と責任が要請されるのである。（昭和三〇年四月二五日記）

コーゾ一萬本植樹

錦町青年會

數年後に日本紙に

錦町青年会では振興造成策として日本紙の原料コーゾの苗木一万本を植田、勿来間の鉄道沿線の土堤に此の程植樹を完了した、此の経費は約六万円で四三万円は錦町役場よりの補助によるもので四、五年後には立派な原紙が産み出され唯一の財源となるというもの

窃盗

磐城署は二十九日磐城市生れ住所不定窃盗前科四犯無職吉田忠治(三四)を窃盗容疑で逮捕したもので、同人は去る四月二日午後十一時ごろ同市大字大原字山根七小滝ホテル(経営者渡辺渡氏)方から、宿泊中の郡山市富久山町字久保田一四二会社員川村誠さん(四四)のセビロ上衣から現金六千円を盗んだもの

強風注意報きのう發令

磐城市小名浜測候所では三日午後午後五時〝強風雨注意報〟を発令した

四日朝から南東の風雨が強まり最大風速は海上で十五メートル、陸上は十メートル、なお沿岸海上は風波が高まるから漁船は注意を要する

七日にジャズコンサート

平ジャズ愛好会(仮称)主催の第一回Lジャズ・コンサートは七日午後二時から平市白銀町石島公民館で開く、曲名はJATPのボディ・アンド・ロールほか数曲でこのほかジャズの歴史について解説がある

ズリ山を仰ぐ子供達

泉川秀雄【134】

「先生、牛乳持つて来ました」

「大変ね、いつもいつも…」

「先生寒いから休んでいて下さい。すぐあたゝめますから」敬子さんは器用な手つきで牛乳をあたゝめた。

「みなさん寒いでしよう、大変ね」

「手がつめたいのね」

千歳は子供達の元気な顔を見下ろした。りんごの様に真赤なふくらんだ顔をじつと見ていると自分までこの子供達の元気さに引き込まれて行く様だつた。子供達の吐く息が白かつた。寒暖計は二度を指していた。

「先生あのね。男の人達が雪の中で石炭運びをしていたの。寒いそしようつて云つたら寒くなんかないつて威張つてた。然し時々手をフウフウさせていたわ。空威張りしているみたいのね」

「ええ、男の人達が石炭運びをしてたつて、どうしてでしようね」千歳は意外に思つた。意外に思うのは当然であつた。

「あのね、先生が病気になつたからすぐ始めたらしいの。なんでも先生に御見舞をすんだつて云つてたわ」

「あらそう、そんな事しなくともいゝのにね」千歳は感慨深げに男の子供達の一人一人を頭に浮かべていた。

「甚三さんはこれ位重くないつて。でも相当重いでしよう」女の子達も男の友達を浮かべていた。一人一人が千歳のために犠牲してくれている。それは過去の千歳の悩みが子供達の一人一人の心を動かしたのであろう。

「ところで明日は大晦日ね」

千歳は年末に立ち至つて病院にいる自分が哀れになつた。今年も後一日となると何故か気持が落着かなかつた。

「そうね」子供達も同調した。

「先生も入院して一週間になるんですね。早いなあ…？」何か自然に発せられた今の一言葉の中に千歳はハツとした。

「この一週間の時日の中に寄せられた子供達の純な行為からうまれた美しい贈りもの。蔭日向なく千歳の病に対して全快を祈つてくれているのである。子供達ばかりではない。父兄達の一人一人もまた全職員も心から病の一日も早からん事を祈つているのである。

あれから一週間が明日で暮れようとしているのである。他人の恩寵に依つて生活した一週間なのである。

「本当に早かつたわ。でも陰様で気持も落着いて来たので大助かりよ」こんな実感だつた。外は相変らずの雪だつた。

この様にして千歳は新しい年の七日に病院を出ることが出来た。遠い山の嶺々には白雪が覆つていた。澄み切つた冬の青空を千歳は母や兄に附添われて退院することが出来た。

二週間振りに見る外の景色は相も変らなかつたが往く人々は喜びに弾んだ明るい表情をしていた

「汽車の時間は…？」

石城清酒界空前の快報

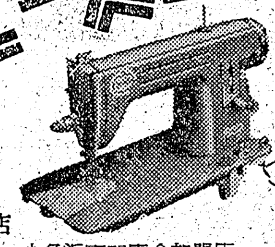
大蔵省醸造試験場
全國新酒鑑評會と
仙台国税局
東北六縣新酒鑑評會で
それぞれ全國水準を抜く優秀品質で
優等に入賞しました

醸吟酒造店山宗酒造

すぐれたミシンできれいな縫い目いきなあなたがなお光る

NM

ミニスミシン



＊チケットを御利用下さい

特約店
小名浜専門店会加盟店
大和田ミシン商會
磐城市定西二〇番七九〇
平指定商加盟店
平稲対協指定店
渡邊ミシン商會
平市新川町電一四〇一

じゃんがら
有平糖 梅ぼし
小名浜中

麹味の和栗子
みそ
電話八九一
田町店
銘産店

三級 おでん種 蒲鉾 笹富 平市字一丁目 電二〇一

さみだれ

〃目に青葉山ほととぎす初鰹〃五月の声を聞くとすぐこの句がピンピンとくるほど心地良い陽気になったが、月初めからのグヅついた天候で折角のゴールデンウイークもオジヤン、ふりこめられた天候に映画館に客が流れてホクホクといった程度だが、さすが街路樹は一際あざやかに若葉をさみだれにぬらし初夏の声を告げて通行人の目を楽しませている

今日は県下全般に亘つて強風注意報が発令され北東の風小雨模様の天気だが夜半すぎから愛となり、明日は朝のうち北西の風に変り朝のうちは小雨が残るが午後晴間が出る様になるという有難くない測候所の御託宣

梅内下り線路上に後頭部裂傷、右足を粉砕され即死している若い女の轢死体のあるのを通行中の下山田三郎さん(三)が発見、勿来署で調べたところ勿来市大字仁井田字中の目七〇農業吉和宗治さん(三)女ツヤイさん(三)で列車に飛び込み轢かれたものらしい

【写真はさみだれにぬれる二十米大通り】

九日 供米優良者表彰

石城地方事務所では二十九年産米供出優良者の表彰式と県表彰者発表を九日午前十時から平市公会堂日本間で行う、受賞者左の通り

【供米優良者】▲二十名　水野義重(遠野)瀬谷由秋(〃)緑川登雄(〃)菅波トミ子(〃)遠野尊(〃)村上重一(磐城)志賀直(〃)久保木吉士(〃)片寄正平(〃)三島五一郎(〃)佐川儀兵衛(常磐)野木久爾(内郷)小野平八郎(勿来)鈴木明(〃)藤田幸(遠野)油座好雄(田人)渡辺長一(〃)豊田豊(〃)大平安五郎(〃)吉田泰二(三和)遠藤(〃)

【県表彰者】▲農林大臣賞旧川部村▲食糧庁長官賞鈴木角太郎(好間)▲知事賞小川町▲知事賞(優良生産者)小野茂理夫(勿来)須藤隆仁(平)柳井五郎(磐城)水野義重(遠野)▲知事賞(指導功労者)鈴木明(勿来)▲食糧増産市営グランド、一小校庭で、女子ドツジボール大会は一中校庭でいずれも午前八時半から開く、参加チームは男女とも次の十三チーム(雨天の際は八日)

▼参加チーム　一丁目、二丁目三丁目、長橋町、研町、古鍛冶町、鍛冶町、八幡小路、久保町材木町、紺屋町、田町、才槌小路

永山派更に一人

県会議員落選候補永山派の選挙違反を追求中の平署では三日貝坂容疑で同派の九名の任意出頭を求め

平市なと受賞

憲法記念日に知事から

祭法記念日の三日、県では恒例ちやん(三)が海に落ち、死亡寸前の褒行者、各種功労者、優良團体などの知事表彰があり、石城郡関係の表彰者次の通り

▼褒行者　佐川正俊(三)＝磐城市

▼自治功労者　仲里勝利(四九)＝常磐市、遠藤定雄(四四)＝磐城市

▼水産功労者　小松金重郎(七七)＝磐城市

磐城市昭和十年江名漁協組長に就任去る二月二十二日午後四時ごろ同市魚市場で遊んでいた金田遼男(以来、よく組合員の指導に当り底曳漁業法の創始者として江名漁業の今日の隆盛に寄与したもの

▼県税納税優良市町村　平市

あすは子供の日

西部青年で球技大會開く

平市西部青年連絡会では明五日の子供の日をトして町内対抗の少年球技大会を催し、少年野球大会は二日小川町高萩町議、磐東運送K幹部横川房司(三)宮村上三坂農業村議員小野亀紀(三七)川前村家畜商佐藤喜久男(三六)の三名を含めて計十四名となつた

取調べていたが四日朝、川前村農業村議永山地蔵(三七)を逮捕した、同派の違反で検挙されたのは去る二日小川町高萩町議、磐東運送K幹部横川房司(三)宮村上三坂農業村議員小野亀紀(三七)川前村家畜商佐藤喜久男(三六)の三名を含めて計十四名となつた

小野派の違反

常磐市天王崎四飲食店鈴木要氏(四四)は一日選挙違反の容疑で常磐署に検挙され四日も留置されている同氏は市議選に出馬して落選したものであるが違反内容は小野義一県議のため有権者に牛乳を無料で配つた容疑らしい

集金十一萬を横領逃走

指名手配中上野署で逮捕

平署から業務上横領容疑で全国指名手配中の日本建物集金人平市六間門二〇石堂重則(四五)は四日午前四時ごろ東京警視庁上野署で逮捕された旨四日平署に連絡があつた同人は平市大町二百本建物平営業所々員として集金、勧誘に従事していたが昨年十一月から今年一月二十日までの間に集金した現金十一万四千八百円を着服逃走していたもの

娘が鐵道自殺

二日午後十一時ごろ勿来市植田駅構内下り線路上に後頭部裂傷、右足を粉砕され即死している若い女の轢死体のあるのを通行中の下山田三郎さん(三六)が発見、勿来署で調べたところ勿来市大字仁井田字中の目七〇農業吉和宗治さん三女ツヤイさん(三)で列車に飛び込み轢かれたものらしい

自殺したものと判明した、なおサヨ子さんは三年前から勿来市役所に勤めていたが去る二十日大倉鮫川橋畔の正木旅館に二日泊つていた点から推して悩ましい年頃の娘だけになんとはなしに遂にフラフラとなつて

八日に延期

高校選抜野球

五日、八日の両日平商、平工グランドで開催する春季県下高校選抜野球大会石城地区予選は雨のため五日の試合を八日に延期した

福祉大會延期

七、八の両日磐城市で開催予定だつた第九回県下社会福祉事業大会は県議会開会とかち合うため五月二十一、二十二の両日に繰り延べて開くことになつた

兄弟で家出

江田驛で保護

三日午前九時ごろ平市古鍛冶町三〇鮮魚商浦野和吉さん長男国和君(二)次男正君(六)の二人は父親に叱られたのを苦にして家出、平から磐越東線に乗車郡山方面に向う途中、江田駅で車掌に捕まり保護された

圖書室に投書箱

常磐市図書館では読書のサービス改善につとめることゝなり、図書室に投書箱を設けた、読書子の声を聴いて漸次要望に添うように改めて行く

野口氏榮轉

教委一名缺員に

常磐炭鉱磐城鉱業所庶務副課長野口春雄氏は五月一日付で東京本社庶務課長に栄転することに決定したが、野口氏は過般改選となつた常磐市教育委員に当選した人で同氏の転出で公選四名のうち一名が欠員となつた、しかし市町村委員の場合二名以上が欠員とならなければ補欠選挙を行わないので、結局一名欠員のまゝ今後四年間事務が執り行われることになる

常磐で二人沒收

常磐市会議員選挙の供託金没収法定得票数は八十六票であるので七十五票の青柳隆司、六十五票の鈴木要両氏が没収される

平新生教會

六日に獻堂式

このほど立派に再建した平市材木町キリスト教平新生教会(牧師高橋フミさん)は六日午前十時半から献堂式を挙行する、同教会は昭和二十年の戦災で焼失したが戦後十年経過した昨年春、信者の拠金によつて焼跡に工費百五十万円、建坪五十三坪の白亜の教会が再建されたもの

大越滿彌氏

常磐炭鉱大越新社長令兄大越満弥氏は一日午後六時三〇分内郷市白水町の自宅で心臓麻痺で死去した七十三才、告別式は四日午後二時自宅で執行した

舞踊やのど自慢

七、八日溫泉神社祭禮

常磐市の温泉神社のさつき祭は七日は本祭で午前十時から神楽殿で常磐民謡研究会の民謡と舞踊また素人のど自慢大会で(飛入り大歓迎)などの演芸会が催される八両日に亘り賑やかに執り行われる七日は宵祭で午後六時から神楽殿御、稚児行列があり終日神楽殿では神子舞、浦安舞が催されるとくに神輿渡御は本年は新調の牛車をひいて市内一円を廻ることになつている、祭例の二日間屋台、山車が繰り出され花火が打あげられ街はボンボリで飾られており若衆のもと明々とした賑いを見せることであろう

落盤で死亡

二日午後一時五十分ごろ勿来市大字小山田字擂沢七二番三六昭炭鉱

5―4 東京ガスを降す

常磐チーム準々決勝へ

五月一日より始まつた第九回ベーブルース杯争奪野球大会は川崎球場に於て盛大に開催したが、東北代表常磐炭鉱チームは三日強豪東京代表東京ガスと対戦各スポーツ

祝 勿來市誕生

勿來局赤津作衛
勿來酒井局園部茂
勿來驛前局星勝美
石城川部局小野光輝

磐南家具協同組合
勿来市番田電話八番

勿来市商工會
会長赤津修一
副会長小林英郎
〃安島峰二
〃羽山松之助

大日本炭鑛
勿來鑛業所

勿來消防團
團長関根忍

植田町消防團
團長鷲文治
副團長蛭田勝雄
副團長坂本喜

菊多方部校長會

バインシンガー福助
芝浦日産一流ミシン
☆チケットご利用下さい
飯塚ミシン商會
営業所植田町本町電呼二〇七
工場同北台町電二六八

福島縣消防協會
植田支部
支部長関根忍
副支部長佐藤庶太
〃常磐豊作

足あとの道

(10)

立花恵子作

五

足の悪い弓子が使いやすい様に、高さを調節した椅子と勉強机がある。部屋の真中に敷かれた花模様のフトンに寝ながら弓子は考えた。

―昨日の今ごろはカナリヤのカゴがこの障子にうつゝたんだけど今日は感つているのか影さえもうつゝてないわ…。こうやつて独りボツチで寝ていると、考えまいとしても指が不揃にのびた自分の片輪な足が恨めしくなる。片輪でさえなければ普通の人の様に温和しく、誰からも察されて幸福な生活が出来るし、又、よその人にも幸福を与えて上げられるのに…。小人より私を劣等視した心から多くの同情と云うのが結局は、普通の人より積極的に勉強をし、先生からお話もきゝ、自分の遅れた身体の全方を常にぶちまけていないと、ビツコと云う暗い影に引きずり込まれる様で気が気じやないのだ。私は夢で時々見る様に片輪な足のわずらわしさのない国へ行つてしまいたい。私は片輪と云じられてしまつたのだ―

「弓子さん！」

突然障子の外で誰かの声がしたビツクリして片手で開けると、学校帰りの真理と欣子がほゝえみながら立つていた。

「どう？お見舞に来たの。お休みになつたから心配しちやつたわ」

二人は弓子の枕もとに坐つた。

「有難う。明日から行くわ。一寸風邪ひいたの」

「シヤンプー事件の次の日から休んだので、あの事でかと思つて心配しちやつた」

欣子が例のサツパリした口調で云つた。

「そうそ、シヤンプーの弟、不良のブラツクリストにのつてるんだつて」

「M中の三年だつてね。気が弱くて仲間に引きずり込まれてるつてよ」

「四月末にあつたM中の開校記念日、見に行つたら午後から仮装行列があつたのよ。土人だとか看護婦さんとか色々出たんだけど、その中にセーラー服を着た本当の女学生がいるじやないの、ビツクリしたわ。そしたらそれがシヤンプーの弟なんだつて。そう云えば一寸可愛い顔してるでしよ。オカツパのかつらをつけて、よく見たらやはりしやくれあごだつたわ」

三人はドツと笑つた。

「学校の五年の時だつた。高い熱で寝込むとしびれが来て小児マヒ診断がつけられた時には、もう私は生れもつかぬ片輪になつていた一カ月たつて学校へ行くとナワとびも出来ないし、悲しい傍観者となつたのだ。それから後、今迄にこの足のためどんなにはずかしい思いをして来ただろう。でも私は、外の片輪の人のように、健康人の影の存在として生きて行きたくはなかつた。生半かな同情を受けたとしても私の足は元通りにはならないのだ。私は同情を受ける様な弱いメソメソした心でいたくない。そこで、よけい私の心のからは固く閉じられてしまつたのだ―

突然障子の外で誰かの声がした

ビツクリして片手で開けると、学校帰りの真理と欣子がほゝえみながら立つていた。

「どう？お見舞に来たの。お休みになつたから心配しちやつたわ」

二人は弓子の枕もとに坐つた。

「有難う。明日から行くわ。一寸風邪ひいたの」

「シヤンプー事件の次の日から休んだので、あの事でかと思つて心配しちやつた」

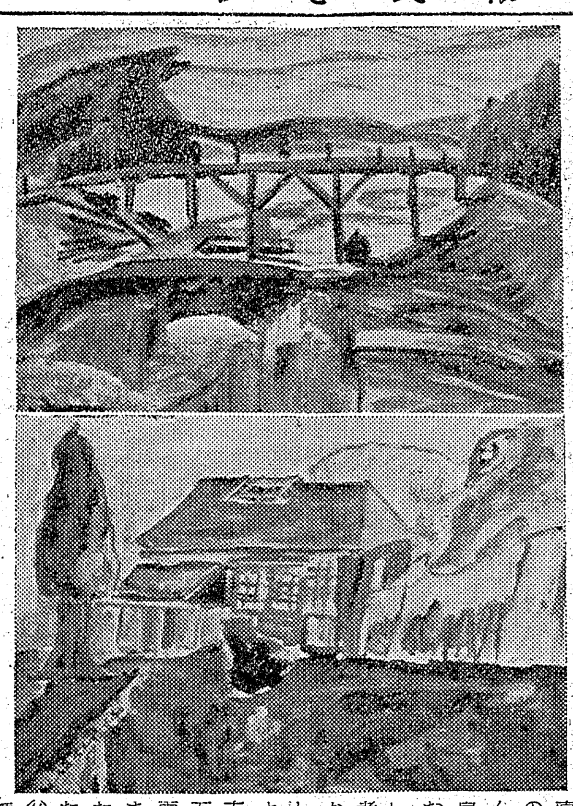
欣子が例のサツパリした口調で云つた。

「そうそ、シヤンプーの弟、不良のブラツクリストにのつてるんだつて」

「M中の三年だつてね。気が弱くて仲間に引きずり込まれてるつてよ」

「四月末にあつたM中の開校記念日、見に行つたら午後から仮装行列があつたのよ。土人だとか看護婦さんとか色々出たんだけど、その中にセーラー服を着た本当の女学生がいるじやないの、ビツクリしたわ。そしたらそれがシヤンプーの弟なんだつて。そう云えば一寸可愛い顔してるでしよ。オカツパのかつらをつけて、よく見たらやはりしやくれあごだつたわ」

三人はドツと笑つた。



風景　六の四　和田茂樹

風景　六の四　松崎忠治

学芸

平二小作品

両陛下のお見送り

平二小・六年二組　松本繁

一時三十分、僕達は仙台に植樹に見えられてのお帰りの天皇陛下をお見送りすることにたりました。僕は駅のホームに入るので学校の前の道でみんなと別れましたみんなは、いがりホームへ行くのです。駅のホームに入りました。そこでは平商のブラスバンドが君が代の練習をしていました。天皇皇后両陛下へいかのお召列車がつくと同時に、このブラスバンドをはんそうにぼくたちがせいしようするうまもなく、天皇、皇后両陛下がおつきになる時分です。スピーカーが報じています「お召列車が四番を無事御出発なされました」と。ぼくは初めての拝顔なのでむねがどきどきしました。そこへお召列車が静々とホームへ入つてきました。と同時に君が代のメロディが流れ出しました。僕たちは思わず姿勢を正しました。お召列車は音もなく僕たちの眼の前に静かに止りました。菊の御紋が大きく目にうつりました。市長さんを先頭に最敬礼をしました。直立不動の天皇陛下、お疲れなのか、はつと思つて拝顔したとたんお辞りになつてしまいました。皇后陛下は黒いレースをかぶつておられました。僕は「美しいなあ」と思いました。いつも僕たちが考える美しいというのとちがい何か特別にうたれる美しさでありました。五分間という時間は思つたより長いものでした。

市長さんにつづく僕たちの万才…万才…の声で送られて天皇、皇后両陛下は何か話したい表情になりました。僕にはそんなふうに思えたのです。そして僕たちはお話したいような心が残りました。

父母は「こんなに近く両陛下に拝顔することなしに年をとつてしまつた」と申しております。

父母の出きないことを六年生の僕が出きたと思うと今日の感げきは一生忘れられないでしよう。緑一色に包まれた園はさかえ、山に木の少ない国はおとろえるといいます。この度の両陛下の御心に体して、僕たち日本人は日本民族の発展のため、強く正しいまことの人にならなければならないと菊の御紋がぼくの視線から遠ざかるホームで覚悟をあらたにしました。

お見送り

平二小六の四　吉田悠子

この度、天皇、皇后両陛下には、宮城県の全国植樹祭に御出席されその帰り途、お召列車が平駅を通過されますので、私と松本さんは生徒代表として、校長先生や鈴木寧子先生と平駅でお見送り申上げました。この日の平駅ホームには諸橋市長さんを始め、官庁や各団体各学校の代表者や高齢者など百数十名が奉送申上げました。私達がお待ち申上げておりますと、お召列車は機関車の前部に日の丸を交叉して静かにホームにお着きになりました。この時、平商高ブラスバンドの君がよが吹奏され、諸橋市長さんの発声で精いつぱいの声をあげて万歳を三唱しました。両陛下は窓にお立ちになり、にこやかにお会釈されました。私は間近に陛下のお姿を見ほんとうに親しみを感じ、たゞ感げきにて陛下の御健勝と平和をお祈り申上げました。

六年生になつて

平二小六ノ四　勝田博志

月日のたつのは早いもので、お母さんにつれられ、ひよこんで入学した一年生の事が昨日のように思われるのに、もう六年生になつてしまつた。小学校の最上級生になつてみて、自分がはずかしくないかどうか考えてみた。勉強はどうか行いはどうか。勉強はたりない、行いもいゝとはいえない。これでは六年生としてほんとうにはずかしい。一中に進んで「二小の生徒はだめだ」等いわれたら、先生にもあとからくる二小の生徒にも申しわけがない。「二小の生徒はよい生徒だ」とほめられるようになろう。其のためにも六年はしつかりやらなければならない。こんど儀選は三年もつづいて教えていただいた先生がかわられとても悲しかつた。でも新しい先生もとてもよい先生なのでしつかり勉強し、だれにもはずかしくないりつぱな六年生になりたいと思う。

平クツキング

開校式を挙行

平市一丁目平クツキングスクールでは一日開校式を行つたが、四日一般公開教授するため東京国際クツキング・スクールから秋谷顧問講師を招き、午後一時と午後六時から同校に無料講習会を開き大盛況だつた

いわき歌壇

諸橋市長の當選を喜ぶ

四年間の徳政孤ならず隣ありて今日の栄冠を祝ふともがら

四年間守り育てし諸橋市政花咲き爽るまで守らざらめや

今日の喜び必ず来るとは思ひしも朝に念夕べに祈りぬ

当選のみ祈りて過しゝ日をいつし

児童会委員長

青葉そよく木かげ

新しいDPは富士

市政の消は遂く重荷負ふとも強き信念もて進まれよかし　（蛭田いさ）

其石庵月例碁會

来る五月八日午前九時より銀冶町同庵に於て月例碁会開催

将棋會の成績

平将棋碁会第一四〇回将棋会成績左の通り

A組❶秋坂治郎治❷根守博❸小林春義❹村田政雄、B組❶大友一夫❷中津浜喜蔵❸加藤良一❹鈴木至正

商工欄

銀座に緑屋支店

平市線座通り石川学院隣に新しく緑屋肉店銀座支店が近日開店する

今晩のラジオ

9日

◇NHK二三六〇KC

午後0・00（福）福島新地図
0・05 世界童謡祭
0・30 放送演芸会
0・45 名作アルバム
1・00 浪曲
1・15 時の動き
1・20 ラジオ小説
1・50 ラジオ喫茶室　森繁久彌
◇ラジオ福島一〇六〇KC
0・00 浪曲名人集
0・30 物まねコンクール
0・50 会津若松観光のタ
1・00 ドレミファゲーム
1・30 鳥家演芸会
2・00 名作アルバム
2・15 浪曲
2・45 時の動き
3・00 ラジオ小説
3・30 ラジオ喫茶室　森繁久彌
4・00 浪曲名人集
4・30 物まねコンクール
5・00 会津若松観光のタ
5・30 ドレミファゲーム
6・00 鳥家演芸会
6・30 名作アルバム
7・00 浪曲
7・15 時の動き
7・20 ラジオ小説
7・50 ラジオ喫茶室　森繁久彌
8・00 浪曲名人集
8・30 物まねコンクール
9・00 会津若松観光のタ
9・30 ドレミファゲーム
10・00 鳥家演芸会
10・30 名作アルバム
11・00 浪曲
11・15 時の動き
11・20 ラジオ小説
11・50 ラジオ喫茶室　森繁久彌
12・00 浪曲名人集
12・30 物まねコンクール
1・00 会津若松観光のタ
1・30 ドレミファゲーム
2・00 鳥家演芸会
2・30 名作アルバム
3・00 浪曲
3・15 時の動き
3・20 ラジオ小説
3・50